



自衛隊千葉地方協力本部

下志津駐屯地UH-1体験搭乗



搭乗前の安全教育

自衛隊千葉地方協力本部（本部長 大山康倫 1等海佐）は、令和2年12月12日（土）陸上自衛隊下志津駐屯地において東部方面ヘリコプター隊のUH-1の支援により募集対象者等36名に対し体験搭乗を実施した。

コロナ禍におけるヘリコプターの体験搭乗は千葉地本では初めてであった。手袋を着用させ、搭乗者数を4名に制限するなどコロナ対策を徹底した。搭乗前に操縦席に座つての撮影もでき「大変貴重な経験ができてよかった」と大絶賛であった。

参加者は間近で見える機体の迫力や操縦士及び整備員との会話などを楽しむ様子が見られ、自衛隊への関心が得られた。

体験搭乗では「空から見た街並みや景色がとてもきれいでした」また「とてもドキドキと興奮する経験が出来ました」など大変喜ばれる声が寄せられた。

自衛隊千葉地方協力本部は今後も地域との交流を図り、募集広報活動を継続して自衛隊に対する理解と協力を得るとともに一人でも多くの志願者の獲得に努める所存である。



搭乗前の記念撮影

投稿記事（予備自衛官1日間招集訓練）

千葉地本は、10月30日、31日、11月6日、7日、20日及び21日の6日間地本本部において令和2年度第3四半期予備自衛官1日間招集訓練を実施した。

今回の訓練は、今年の7月から9月までの間に採用された予備自衛官が対象で、6日間で合計27名の予備自衛官が参加した。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、各日の訓練参加者数を制限する等、感染拡大防止策を徹底して訓練を実施した。

本訓練では、本部長による訓示、担当者による予備自衛官制度の教育、次年度以降参加することになる5日間訓練の概要説明等を実施し、予備自衛官としての使命と自覚を付与して5日間訓練への出頭意欲の向上を図ることができた。

また、即応予備自衛官への応募資格を有する予備自衛官に対しては、地本担当者が即応予備自衛官の処遇や活動等、魅力を熱心に伝え、2名の志願者を獲得することができた。

千葉地本では、今後も、予備自衛官の身上を把握し親身に対応していくとともに、予備自衛官雇用企業の理解及び協力の促進を図り、予備自衛官が安心して訓練招集に応じられる環境の醸成に努めていく。



担当者による予備自衛官制度説明



本部長の訓示